

山口森林管理事務所における民国連携の取組について ～地域に愛される国有林を目指して～

近畿中国森林管理局 山口森林管理事務所
一般職員 中嶋 俊介
一般職員 平尾 夏郁子

1 課題を取り上げた背景

近年、国民の森林への関心は高まりつつあります。その一方で、森林について興味があり、森林の重要性についてもなんとなく理解しているが、実際に森林と触れ合う機会や時間がない人も多いというのが現状です。

また、女性の社会進出の場を増やそうと各地で様々な取組が進められている中、林業・木材産業の分野において女性の割合は非常に少ない状況となっています。そこで当所では、女性(特に20代から30代の若い世代)をメインターゲットに①森林に関わるきっかけをつくってもらう、②普段の生活の中でも森林は身近にある事を知ってもらう、③森林に関わる女性の生き方や選択肢を知るヒントにしてもらう、といった目的のもと山口市や関係団体と協力して、森林フォーラム「おいでませ森へ～森ではたらく女性がふわっと語るその魅力～」を開催しました。

2 取組の経過

午前の部では、「森と人の物語」と題した、林材ライター赤堀楠雄氏による基調講演を行い、これまでの取材等を通して出会ってきた人々と森との関わりについて、写真や物語を交えながら紹介して頂きました。その後、「森ではたらく女性からみた森の魅力」をテーマに、コ



パネルディスカッション

ーディネーターと森林・林業に関わる女性4名によるパネルディスカッ

ションを行いました。各パネリストからは、森林・林業に興味を持ったきっかけや現在の活動内容、森の魅力などが紹介され、それぞれの森林への思いについて意見交換が行われました。また、午後の部では森林散策や紙芝居、アロマスプレーと木工品作りなどを行いました。



森林散策

3 実行結果

来場者数は、目標としていた100名を上回る141名(男性45名、女性77名、託児19名)でした。当日配布したアンケート結果から、10～20代の女性が少なかった一方、30代の女性が最も多いことが分かりました。また、参加者全体の7割以上が農林業以外に従事しており、森林に関わりのない方々の参加が多く見られました。なお、参加者からは「林業＝男性というイメージがあったので、若い女性が活躍しているのを知り、驚き感心した」、「気軽に参加できる感じが良かった」といった声が聞かれました。

4 考察

実行結果から、参加者の皆様には当フォーラムを「森林に関わるきっかけ」として受け止めて頂けたのではないかと感じています。一方、目標であった若い女性のうち20代の参加が少なかったこともあり、今後の課題や反省点も見つかりました。また、今回の取組を行うに当たって、関係団体等からたくさんのご支援・ご指導を頂きました。これらのご協力がなければ、今回のフォーラムの成功はなかったことから、改めて地域での日頃からの連携や情報交換の大切さを知りました。当所では、今回実施したフォーラムの反省点をふまえ改善しながら、今後も地域の方々が気軽に参加でき、森林に触れ合うことのできる取組を地域と連携し継続して実施していく考えです。